

アクセルをより知っていただくためのIRマガジン

# AXELL

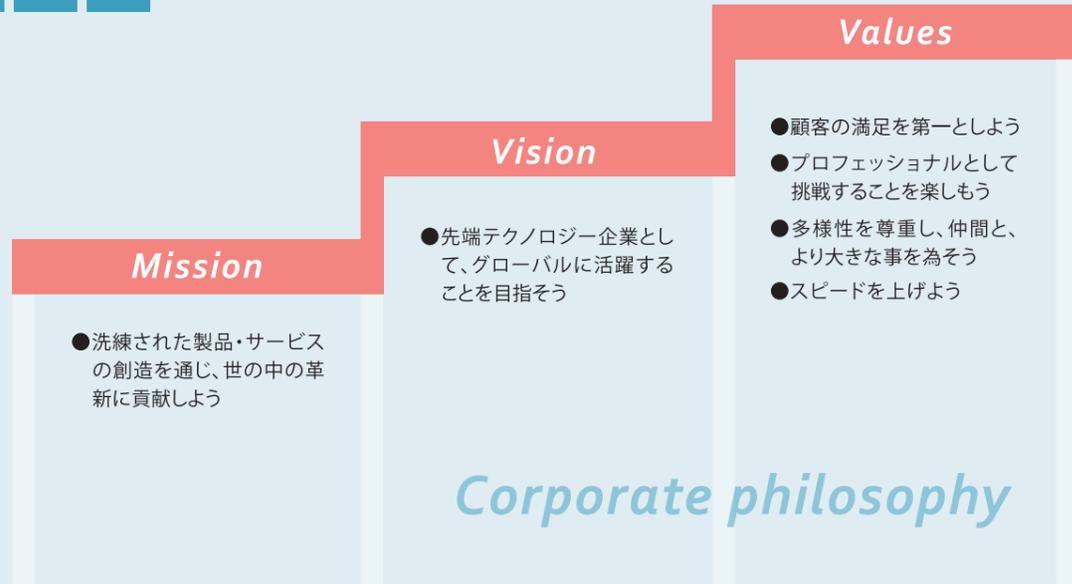
## Review

証券コード 6730

第26期中間報告書

2020.4.1 > 2020.9.30

### 企業理念



### 社長ごあいさつ

#### 企業理念のもと、不透明な環境下でも積極的に事業を展開しました。

当中間期は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、極めて不透明な状況で推移しました。こうしたなか、当社グループでは従業員及び関係者の皆さまの安全を最優先に考え、リモートワークや時差出勤などを実施したうえで、パチンコ・パチスロ機市場での安定収益確保に向けた取り組みの強化、新規事業においては早期事業化に向けた活動を積極的に実施しました。このような取り組みにより、当中間期は前年同期を上回る業績となりました。

また、最近の業績動向と現時点における入手可能な情報をもとに、未定としていました当期の通期業績予想を公表しました。対前期比では減収減益という見通しとなりましたが、株主の皆さまには現在の社会経済状況をご理解いただき、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長 松浦 一教



### 会社概要

設立年月日 1996年2月1日  
 資本金 10億28百万円  
 社員数 87名(アクセル単体)  
 事業内容 ●半導体集積回路及び半導体集積回路を組み込んだプリント基板の設計、製造、販売  
 ●画像・音声・機械学習等に関する要素技術の研究、開発、販売  
 ●情報セキュリティに関する要素技術の研究、開発、販売  
 ●ブロックチェーンに関する要素技術の研究、開発、販売  
 ●インターネットを利用した各種情報提供サービス業  
 ●ソフトウェアの開発、販売  
 ●前各号に関する応用機器の設計、製造、販売  
 ●古物売買業  
 ●前各号に付帯する一切の事業

取締役 取締役社長(代表) 松浦 一教  
 取締役副社長(代表) 斉藤 昭宏  
 取締役 蟹江 幸司  
 取締役 客野 一樹  
 取締役(監査等委員) 西坂 禎一郎  
 取締役(監査等委員) 三村 勝也  
 取締役(監査等委員) 鈴木 真巨  
 取締役(監査等委員) 五十島 滋夫  
 ※監査等委員は全員独立社外取締役です。  
 ※西坂禎一郎氏は常勤の監査等委員です。

所在地 〒101-8973  
 東京都千代田区外神田四丁目14番1号  
 秋葉原UDX 南ウイング10階  
 TEL:03-5298-1670 FAX:03-5298-1671

グループ会社 ax株式会社  
 株式会社VIPPOOL  
 aimRage株式会社(2020年11月18日設立)

URL <https://www.axell.co.jp/>

### 株式の概要

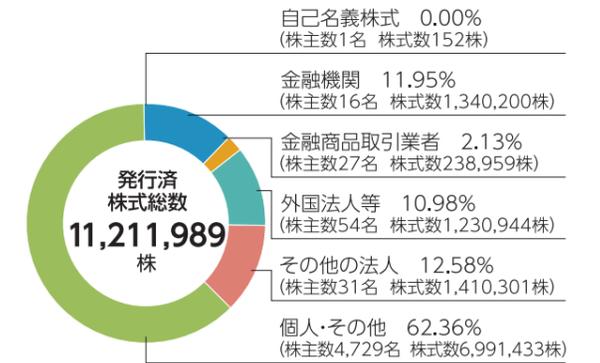
発行可能株式総数 23,112,000株  
 発行済株式総数 11,211,989株  
 株主数 4,858名

### 株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
佐々木 譲	1,243,200	11.08
緑屋電気株式会社	849,000	7.57
市原 澄彦	595,800	5.31
柴田 高幸	594,800	5.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	485,300	4.32
松浦 一教	397,140	3.54
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY - PB	368,000	3.28
森屋 和喜	330,000	2.94
株式会社アパールデータ	260,000	2.31
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	213,600	1.90

※佐々木譲氏は2020年4月2日に逝去されましたが、2020年9月30日現在の株主名簿上の名義で記載しております。  
 なお、2020年10月22日付の大量保有報告書(変更報告書)において、2020年10月14日現在で佐々木譲氏の保有株券等の数は0株となった旨が記載されております。  
 ※2020年11月20日付で414,400株の自己株式を取得しております。

### 所有者別分布状況



### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 3月31日  
(その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします)  
 期末配当金 3月31日  
 受領株主確定日 (中間配当を実施する場合は9月30日)  
 公告方法 電子公告により当社ホームページ(<https://www.axell.co.jp/>)に掲載いたします。  
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座 口座管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 電話 0120-232-711(通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### お知らせ

#### 株式に関するお手続きについて

- 株主さまの住所変更、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなっております。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当中間期の業績について

既存・新規の両事業で積極策を推進し  
前期を上回る業績を確保しました

既存事業の「LSI開発販売関連」では、主力製品であるパチンコ・パチスロ機市場向けグラフィックスLSIの拡販により、販売個数は前年同期より約4万個増の約23万個となりました。また、メモリモジュールも採用顧客が増加した結果、当中間期の売上高は4,119百万円、セグメント利益は757百万円と、前年同期を上回りました。

「新規事業関連」は先行投資時期ですが、機械学習/AI領域においてax株式会社によるbitcraft株式会社及びモーションポートレート株式会社の買収効果に加え、ディープラーニングやAI技術を応用したソリューションの採用が拡大しました。これにより、当中間期の売上高は142百万円と大きく伸び、セグメント損失は前年同期から大幅に減少して182百万円となりました。

以上の結果、当中間期の売上高は4,262百万円、売上総利益は1,531百万円となりました。販売費及び一般管理費は1,261百万円、うち研究開発費は738百万円となりました。これにより、営業利益は269百万円、経常利益は299百万円、親会社株主に

帰属する四半期純利益は231百万円となりました。

また、当中間期末の財政状況は、流動資産10,174百万円、うち現金及び預金は7,847百万円、自己資本比率は88%と、引き続き健全性を維持しています。

通期の連結業績について

新規事業は着実に進展する一方  
既存事業は前期を下回る見通しです

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に見積もることが困難であったことから未定としていました当期の連結業績予想を、2020年11月10日に公表しました。

主力の「LSI開発販売関連」では、法改正に伴い、新規則に対応したパチンコ・パチスロ機への入替え需要を見込んでいましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で旧規則機の撤去期限が延長され、当期に見込まれていた新規則機への入替えの多くは翌期へ先送りされる見通しとなりました。このような状況に加え、近年の市場環境を総合的に勘案すると、パチンコ・パチスロ機の当期販売台数は、前期を大幅に下回るものとみています。このような環境のなか、主力製品のグラフィックスLSIは、約42万

個(前期実績39万個)の販売見込みとしました。メモリモジュールは採用顧客が増加しているものの、リユース品の増加で販売は前期を下回る見通しです。「新規事業関連」では、引き続き機械学習/AI領域の開発支援ビジネスの拡大等により、前期を大幅に上回る販売見込みとしました。また、経営効率の向上を企図して本年12月にax株式会社がモーションポートレート株式会社を吸収合併しています。

以上の分析により、当期の売上高は8,300百万円、営業利益は180百万円、経常利益は320百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は250百万円としました。

当期末の配当は、上記の業績予想と当社の株主還元方針(配当性向50%:連結決算)を踏まえ、1株当たり年間配当金11円(前年実績21円)を計画しています。

今後の成長戦略について

グループの総合力を発揮し  
新たな価値を創造します

不透明な状況が長引くなか、当社グループでは、新たな企業理念のもと、独自の強みである総合的な開発力を最大限に発揮して持続的な成長と企業

価値向上を目指します。そのため、引き続き安定基盤を持つ既存事業への取り組みを強化するとともに、成長領域である新規事業で確かなポジションを構築すべく積極的に経営資源を投入し、今後のグループを支える両輪としていきます。

既存事業では、パチンコ・パチスロ機市場で2014年から連携してきた富士通デバイス株式会社と共同出資し、aimRage(エイムレイジ)株式会社を設立しました。両社が協力して供給するメモリ製品の評価は良好で、非常に高いシェアを獲得しています。今後メモリ専門メーカーとしてaimRageはこの実績を引き継ぎ、蓄積された技術とノウハウを有効活用して市場ニーズに応え、事業のさらなる強化を図ります。

新規事業では第28期(2023年3月期)に売上高16億円超を達成するため、機械学習/AI、ミドルウェア、セキュリティ、ブロックチェーンの成長4領域で早期の収益化に努めています。「機械学習/AI領域」では、ロイヤリティビジネスを早期に確立するため、独自のAI技術の中核に、AI実装をトータルに提供できるプラットフォームとして、開発支援ビジネスとAI製品の販売を推進しています。また、株式会社ティアフォーと共同研究する自動運転向けLSIでは、研究成果を広範なAI製品向けやIP製品として提供するプロジェクトをスタートさせました。「ミドルウェア領域」では、ゲーミング市場の制作現場で求められる高性能かつ多機能なアプリケーションを提供。導入企業数は着実に増えてきています。「セキュリティ領域」では、セキュアな情報管理がますます重要になっていることに対応し、暗号化ソリューションのSHALOシリーズの販売を開始しました。「ブロックチェーン領域」では、ブロックチェーンの信頼性を支えるマイナーとブロックチェーン運営者の両者にソリューションを提供しています。今後もこうした取り組みを積極的に行い、事業の成長と持続的な収益確保に注力していきます。

第26期中間期の業績結果

(百万円)

	前中間期実績 連結決算	当中間実績 連結決算	増減率
売上高	3,865	4,262	10%
売上原価	2,646	2,730	3%
売上総利益	1,218	1,531	26%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	1,133 (674)	1,261 (738)	11% (9%)
営業利益	85	269	216%
経常利益	94	299	217%
親会社株主帰属利益	90	231	158%

通期連結業績計画の公表

(百万円)

	前期実績 連結決算	通期計画 連結決算	増減率
売上高	9,265	8,300	△10%
売上原価	6,316	5,400	△15%
売上総利益	2,948	2,900	△2%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	2,555 (1,549)	2,720 (1,670)	6% (8%)
営業利益	393	180	△54%
経常利益	535	320	△40%
親会社株主帰属利益	468	250	△47%

通期連結業績計画と中間期の進捗

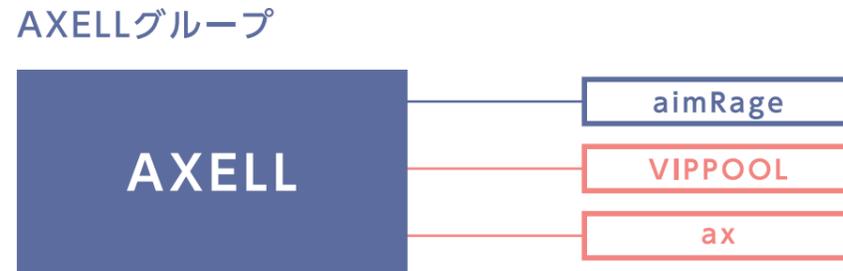
(百万円)

	当中間実績 連結決算	通期計画 連結決算	進捗率
売上高	4,262	8,300	51%
売上原価	2,730	5,400	51%
売上総利益	1,531	2,900	53%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	1,261 (738)	2,720 (1,670)	46% (44%)
営業利益	269	180	149%
経常利益	299	320	93%
親会社株主帰属利益	231	250	93%

# アクセルグループの全体像

## アクセルグループの強みと事業内容

アクセルの強み | 高付加価値製品を実現する総合的な開発力



### 3つの開発力を生かし、成長力のある分野で最先端の事業を展開

アクセルは差別化を担う要素技術の研究開発力・ハードウェア開発力・ソフトウェア開発力という3つの開発力を最大限に生かし、パチンコ・パチスロ機向けに高付加価値製品を提供することで事業を拡大してきました。この3つの開発力を、今後の大きな成長が見込まれる機械学習/AI、ミドルウェア、セキュリティ、ブロックチェーンの新

規事業4分野へも応用し、早期に事業の柱として確立できるような子会社を含めたアクセルグループとして連携し、取り組んでいます。それぞれで蓄積された技術・ノウハウを融合することで、最先端の製品・サービスを開発・提供し、世の中の革新に貢献する先端テクノロジー企業として成長し続けます。

グループの事業 | 安定した基盤を持つ既存事業、成長市場で展開する新規事業の両軸で展開



## TOPICS

**パチンコ・パチスロ機** 次世代メモリ製品の安定供給を目指して 富士通デバイスとの共同出資で専業メモリメーカーを設立

2020年11月、当社は富士通デバイス株式会社との共同出資で子会社「aimRage (エイムレイジ) 株式会社」を設立しました。両社は、2014年から緊密に連携してパチンコ・パチスロ機向けのメモリ製品を開発・製造し、高いシェアを確保してきました。今回の子会社設立により、今後も予想される半導体業界の厳しい環境下においてメモリ製品の安定供給を実現し、同時にリソースの一本化により、蓄積する技術とノウハウ等、経営資源の最適化を図ります。aimRageは、パチンコ・パチスロ機市場向け専業メモリメーカーとして、次世代メモリ製品の企画・開発・製造・販売を行い、市場ニーズに応える製品を安心・安定供給する役割を担います。

**機械学習/AI セキュリティ** 実写映像やアニメを高画質化する「ailia AI Refiner」とセキュリティ製品「SHALO」シリーズの販売を開始

ailia AI Refinerは、アクセルとax、及びラディウス・ファイブの各社が持つAI技術を融合して開発した映像編集ツールで、世界最高水準の高画質化を高速に実現します。さらにアクセルは、SHALOシリーズの第一弾として、USBドングルを使用し、アプリケーションの保護や簡単にライセンス管理が行える「SHALO LICENSING」の提供を開始しました。

SHALO LICENSING リアルタイムロック付 (有効期限設定可能)

SHALO LICENSING 有効期限設定機能なし

**ブロックチェーン** 「高砂熱学イノベーションセンター」に導入されたポイントシステムに、ブロックチェーン技術を提供

同センターは、高砂熱学工業株式会社が新設した研究開発拠点。最先端の省エネソリューションが展開されており、従業員のエコ行動にポイントを付与する独自システムが導入され、獲得したポイントは、同センター内の食堂で利用されています。アクセルは、このシステム開発にブロックチェーン技術を提供。高度な耐障害性と相互運用性の実現に貢献しました。